

### Ⅲ 平成30年度企業会計の決算状況

#### 1 水道事業会計

##### 〔概要〕

平成30年度の水道事業の運営については、安定給水の確保と住民福祉の向上を図るため、施設の維持管理、改良整備、更新等を昨年度に引き続き実施しました。

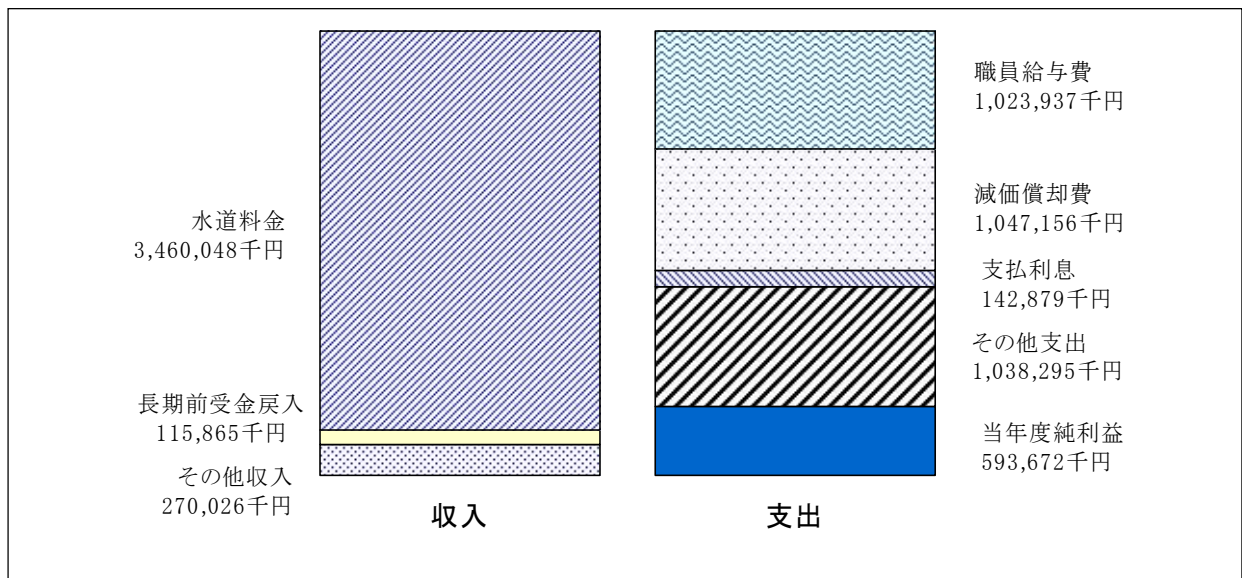
主な事業としては、地震等の災害対策として配水管の耐震化を図る基幹管路整備工事、老朽管更新工事、浄水施設の老朽化対策として広瀬浄水場電気計装設備更新工事等を実施しました。

給水状況については、給水戸数は72,750戸(前年度比99.9%)で、給水量は20,532,584 m<sup>3</sup>(前年度比99.2%)となり、有収水量は18,394,572 m<sup>3</sup>(前年度比99.1%)となりました。

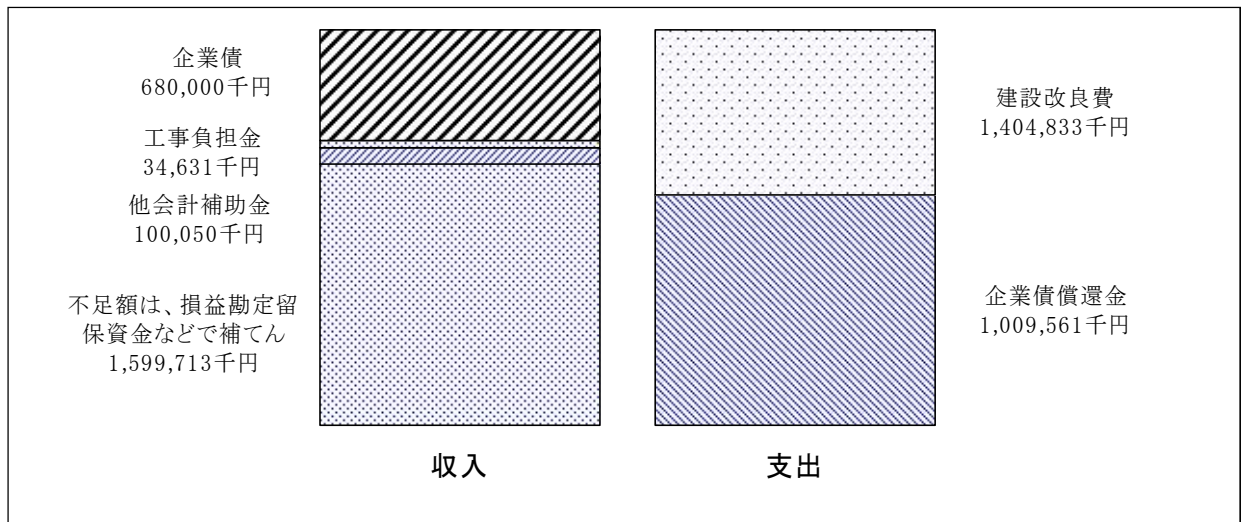
経営成績については、事業収益は3,845,939千円に、事業費用は3,252,267千円となり、収支差引の結果、当年度純利益は593,672千円に、また、当年度未処分利益剰余金は1,093,672千円となりました。

一方、資本的収支については、収入814,681千円、支出2,414,394千円となり、差引不足額は1,599,713千円となりましたが、これは、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額96,508千円、減債積立金400,000千円、建設改良積立金100,000千円、過年度分損益勘定留保資金287,246千円及び当年度分損益勘定留保資金715,959千円で補てんしました。

##### 〔収益的収支〕



##### 〔資本的収支〕



※資本的収入額は、翌年度繰越工事財源の額を控除した額